



東京工業大学 環境・社会理工学院 教授
中崎 清彦 先生

2020年から続くコロナ禍は、私たちの生活にとってのみならず、企業活動にとっても様々な制約、不自由さを強いるものとなっている。ピアノの販売についてもその影響を受けたが、コロナ禍の巣ごもり需要に強い製品で巻き返しをはかったこと、オンラインレッスン等の活用もあり国内外の音楽教室の生徒数にも回復の兆しが見えるなど、努力の甲斐あって売上高、経常利益ともに堅調に推移していることが報告書にまとめられている。

また、第6次中期経営計画「Resonate 2021」では100年ブランドの構築に向け、「販売力」、「製品・サービス力」、「生産力」、「組織力」の4つを向上させることとしているが、報告書にはそれぞれについての取り組みが具体的に、かつ分かりやすく示されている。中でも「組織力」向上の取り組みでは、経済産業省と日本健康会議が共同で選出する「健康経営優良法人」に2年連続して認定され、社員がいきいきと活躍できる「健康経営」が推進されていることが見て取れる。また、女性の活躍推進に関する取り組みの優良な企業として、厚生労働大臣から「えるぼし認定（二つ星）」を受けている。以上のように、「組織力」向上の取り組みは外部機関にも高く評価されており、これらの評価はカワイのブランド力を高め、企業価値の向上につながっていくものと考えられる。

なお、環境対策については興味深い試算が示されている。

2007年から継続しているインドネシアのカワイの森プロジェクトでは、これまでに約650haの土地に、約70万本を植林しているが、この森林のCO₂吸収量は、カワイグループ全体のCO₂排出量の49%程度にあたるしており、CO₂排出量低減対策に熱心に取り組んできた大きな成果がわかりやすく「見える化」されている。また、環境負荷低減の目標と実績では、CO₂排出量と廃棄物排出量が報告されており、2018年度を基準年として毎年1%削減することを想定していたが、2020年度は、売り上げ高基準のCO₂排出量であるCO₂排出量原単位が2018年度比4.8%減少、廃棄物排出量原単位は2018年度比12.0%減少となり、目標値を大きく上回っている。さらに、省エネ法対応では、グループ内の2社（株）河合楽器製作所、カワイ精密金属（株）がSクラスを達成し、資源エネルギー庁によって環境対策が高く評価されている。以上の報告から環境対策について有効な手段が講じられていることがわかる。

これら以外にも、オンライン配信コンサート「Kawai Streaming+(プラス)」の開催、勤松（ジンソン）職業高校の生徒に対する調律技術のオンライン授業等、コロナ禍に素早く対応し、新しいことに果敢に取り組んでいる姿勢が読み取れる報告書になっている。コロナの波を乗り切って、さらに優良な企業として発展していくことを期待している。

第三者意見を受けて

中崎先生には、本年度も第三者意見として、本報告書に対するご評価、貴重なご意見を賜り、厚く御礼申し上げます。

2021年度の報告書では、第6次中期経営計画「Resonate 2021」の4つの重点戦略についての取り組みをご理解いただけるように心がけました。中でも「組織力」に関する取り組みや、インドネシアの植林による環境負荷低減活動について評価いただいたことは大変励みになるお言葉として受け止めております。これからも目標を掲げて努力を続けてまいります。

今後も、自然との共生を大切に、社会に役立つ活動を積極的に行い、音楽文化に貢献することにより企業価値の向上を図るとともに、長期ビジョン「100年ブランドの確立」と持続可能な社会の実現に貢献できるよう努めてまいります。

(カワイ地球環境委員会 事務局)